



## 本草薬膳学院 教員室 第4回

## 飯田和子先生 中医薬膳師コース薬膳学実習担当

### 薬膳の魅力に引き込まれた私

私は食べるのが好きで、栄養士の道を選びました。そして、調理師学校で食品学や調理理論を教えている時には調理師としてのスキルを得ましたが、ずっと思っていることがありました。「食事を栄養価だけで見るとはならず、どうすれば『食の大切さと楽しさ』が多くの方に伝えられるのか」という事です。

東京都栄養士会主催の第1回薬膳初級講座を受講し、その糸口が薬膳であると感じました。食材の栄養素だけではなくからだを温める・冷す概念や、陰陽五行、季節や個人の体質に合わせたオーダーメイドの食事をもっと勉強したいと、海老原英子先生を講師にお迎えし、栄養士仲間と東京栄養士薬膳研究会を立ち上げました。その後、海老原先生が本草薬膳学院の特別講師という繋がりで、学院長の劉海洋先生にお会いできただけでなく、もっと深く薬膳の魅力に引き込まれ、国際薬膳師の資格を取得しました。食育として生活に薬膳を取り入れ、西洋医学と東洋医学の中西医結合で未病先防するためには一生勉強し続けなければならないと思っています。



本草薬膳学院は、劉先生をはじめとして多くの先生方がバックアップしておられるので安心です。さあ、受講生のみならず、一緒に薬膳の世界を楽しみましょう。

## 特別講座回顧録 ①-1 「中国医書の歴史を観る」



本学院が過去に開講致しました特別講座・公開講座をピックアップして振り返ります。出席出来なかった学生と卒業生のために、今後「本草つうしん」に掲載してまいります。

今回は2013年3月11日から4回にかけて行われました安部郁子先生の特別講座、「中国医書の歴史を観る」です。これから“中医学の古典を読みたいけれど、何から勉強を始めたらいいかよくわからない”という方々へ、ご案内致します。

東洋医学の古医書の収集・保存・公開に携わっている研医会図書館の安部郁子先生をお迎えし、「中国医書の歴史を観る」と題して奥深い古典のさわりをご紹介頂きました。中医学の教科書は古典を解釈し、現代の言葉で書き直したものです。その元となる書籍を紹介し、編纂されてきた中国の歴史背景も踏まえて講義して頂きました。銀座にある公益財団法人研医会は、もともとは眼科文献を集める図書館として昭和28年に設立されました。その傍ら、初代理事長中泉行氏は古書に興味を持ち、江戸時代あるいはそれ以前の和書漢籍をもコレクションし、研医会図書館は、現代影印版の元となる書籍や珍しい本のある図書館として研究者の方々には知られているようです。銀座へ出かける時に足を延ばして図書館を訪ね、きっと

面白い銀座の発見ができます。事前に安部先生に連絡する必要があります。(以下、45号へ続く)

### 講師 安部郁子(あべいくこ)先生のプロフィール

1981年 早稲田大学第一文学部文芸科卒業  
2005年より現職  
公益財団法人研医会 研医会図書館館長 研究員



- ◆ 「本草つうしん」は HP(ホームページ)内にて創刊号～最新号(44号)までカラー版をダウンロード出来ます。
- ◆ HP、ブログ等を持っている方で、本草薬膳学院のHPにリンクを貼りたい方は学院までご連絡ください。(但し、HPやブログの内容によってはリンク出来ない場合がありますので予めご了承下さい。)

本草薬膳学院 HP <http://www.honzou.jp/>